

令和6年度 第1回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和6年4月22日（月）10時00分

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・ いよいよ今年度は脱炭素先行地域づくり事業が具体的、本格的に稼働する。4月から村づくり推進室を4名体制にして、脱炭素関係では村づくり推進室を中心に仕事をするようになった。
- ・ 生坂村が始まって以来の当初予算であり、30%の変更はきくが、村民の皆様のためになるような事業にして、全国から注目をされることも確かであるので、ドミノ的に周りにも波及できるような素晴らしい事業にしたい。
- ・ (株)いくさかてらすは今年度PPA事業で大きく動いていく。先行事例がないために本当に大変な部分があるなかで、それぞれの事業を動かすためには、環境省からご指導頂いたり、各機関からご指導頂いたりしながらしっかり協議をしなければならないと思っている。

【協議事項】

○脱炭素先行地域事業 令和6年度事業予定について

- ・ 令和6年度事業で予定している、デマンドレスポンス、古民家脱炭素リノベーション、公共施設省エネ機器・LED導入設計、自営線マイクログリッド設計及び蓄電池設置、EV充電器設置、EVバス導入、公用車EVシェアリング、公共施設ペレットストーブ導入、公共施設チップボイラー導入等の、事業内容や実施スケジュールについて。
- ・ 公営住宅におけるPPA事業の設備設置にあたっては、振興課と村づくり推進室で調整して、入居者への説明を行い進める。
- ・ 4月25日に配布予定をしている「龍と子」の内容に関し、令和6年度省エネ機器・木質バイオマスストーブの対象機器の補助内容、導入補助フロー、指定業者一覧等について。

- ・補助対象経費について、対象になるもの、ならないものを可能な限り示せるように対応して欲しいと意見があり、調整し対応していくと説明。また、指定業者の基準について質問があり、対象機器の施工実績等を確認して指定業者とすることを説明。

○その他

- ・令和6年度森林施業計画（案）に関し、実施計画の内容に係る今後の進め方について。
- ・今年度は着手できるかと質問があり、補助事業の内容を確認して順調にいけない、年度内着手するように進めて行くと説明。
- ・広葉樹を伐採し、来年度からやまなみ荘の稼働に併せ対応できるかとの質問があり、来年度からの稼働は難しいが、施業計画が順調にいけない再来年度から対応できるように進めて行く。また、チップ化するのは、信州リサイクルセンターで対応できるように、機械設備等調整していくと説明。
- ・今後ペレット工場も計画していくのかとの質問があり、費用対効果、設置後の運営状況を精査し検討していく。また、木材を伐採するのに良い補助事業がないか併せて研究していくと説明。

【意見・質問】

- ・全体を通して、古民家の補助の募集について、5月配布予定の「龍と子」で周知できるように対応して欲しいという意見があった。